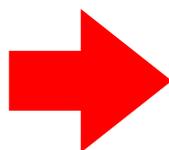


3Dプリンターで、アニメキャラ・企業キャラ・ゆるキャラの  
接客支援ロボットの製作サービスを開始



キャラクターのイラストから



3Dプリンターでオリジナルの一点物の小型ロボットを製作

株式会社ロイスエンタテインメント（本社：大阪府中央区、以下ロイスエンタテインメント）は、自分のオリジナルキャラクターを、接客支援ロボット（30cm程度の小型ロボット）としてオーダーメイド製作する新サービスを2017年8月7日より開始します。

■サービス名：「3D ROBOT」 <http://3drobot.jp>

■サービスの特徴・特長：

1. 自分のオリジナルキャラクターを、小型ロボットにするサービスです。アニメキャラや企業キャラクター、ゆるキャラ等のオリジナルキャラクターのイラストや写真等をもとに、3Dデータを製作して、3Dプリンターで30cm程度の小型ロボット化します。
2. ロボットの動きはカスタマイズ可能で、最大12箇所を動かすことができます。
3. キャラクターに合った人工の音声合成または事前に作成した音声ファイルを再生することができます。声優による音声収録も可能です（別途オプション費用）。
4. クラウドからインターネット経由で各ロボットを操作できます。
5. ディスプレイに接続してデジタルサイネージ化も可能です（別途オプション費用）。
6. 導入コストは10年前の1/10以下、初期費用50万円～、月額1万円～。同型のロボットの製作は2体目以降は20万円～で可能です。

#### ■サービス概要：

自分のオリジナルキャラクターのイラストや写真から 3D データを製作し、3D プリンターを用いてオリジナルの接客支援ロボットを製作するサービスです。ロイスエンタテインメントの 3D フィギュア製作ノウハウを活かし、3D データ設計から 3D プリンター出力までを一貫することで従来よりも低価格での提供が可能となりました。

技術的には、近年急速に性能が向上している汎用的電子基板(Raspberry Pi 等)を活用しつつ、クラウドと連携するネットワークロボットとすることで、各種 AI と連携し、単なる一発物のおもちゃではないロボット製作を目指します。

アニメキャラや企業キャラクター、ゆるキャラ等を接客支援ロボット化することで、幅広い業種からの需要を見込みます。

#### ■ロボット製作例：



#### ■今後の展開：

低価格を武器に、2019 年までに、顧客 100 社、ロボット 1000 台の販売を目指します。

また、サービス開始現在の「動く」「話す」”接客支援”ロボットから、「聞く」「見る」ことができる”接客スタッフ”ロボットへ、AI 機能搭載を進めていきます。

▼「聞く」：音声認識をします。オープンソースの音声認識ソフトとクラウド AI（マイクロソフト社、DoCoMo 社、Google 社の音声 AI と連携テスト中）を組み合わせます。

▼「見る」：画像認識をします。オープンソースの画像解析ソフトとクラウド AI（マイクロソフト社、Google 社の画像 AI と連携テスト中）を組み合わせます。

現在、実際に現場での実証実験をしていただける協力企業を限定3社募集中。  
協力企業はロボットの部材費30万円の負担で3か月程度の実験にご協力頂きます。  
なお、実験終了後もロボットは協力企業にて引き続き運用できます。

■会社概要：

商号： 株式会社ロイスエンタテインメント <http://roice.co.jp/>  
代表者： 代表取締役 廣瀬 勇一  
所在地： 〒542-0082 大阪市中央区島之内1-19-15 高吉堺筋ビル9F  
設立： 2013年1月  
事業内容： 3Dプリンター／3Dデザイン関連事業

■本件に関するお問い合わせ先：

企業名： 株式会社ロイスエンタテインメント  
担当者： 廣瀬 勇一  
TEL： 06-6245-2340  
Email： [hirose@roice.co.jp](mailto:hirose@roice.co.jp)